

リアガラスの フィルムの貼り方説明書

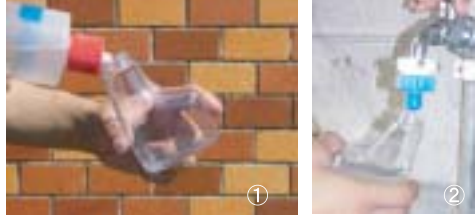
①準備するもの



スプレーボトル・ゴムヘラ・カッター（ハサミ）・中性洗剤（食器洗いで使う洗剤）・タオル（キッチンペーパー）・バケツをご用意ください。

スプレー液の作り方
・中性洗剤は水500ccに対して3滴を目安にしてスプレーボトルに入れて下さい。
夏場などは、中性洗剤の量を増やすとフィルムを貼る際に貼りやすくなります。

気温20℃以下・・・3滴
気温25℃以下・・・4滴
気温25度以上・・・5滴

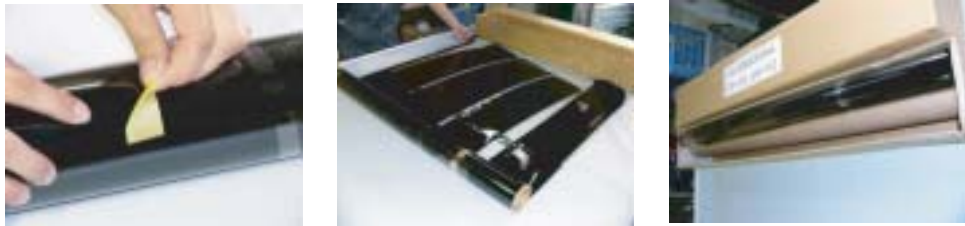


①中性洗剤を1～2滴スプレーボトルに入れます。
②中性洗剤を入れたら、水を150ccの線の位置まで入れます。

～ フィルムを貼る際のアドバイス ～

気温25℃以上のときは日陰でのフィルム貼付けを行ってください。
著しくフィルムの貼りこみの邪魔になる内装やストップランプ類は外す事をお奨めします。
※外し方などは当店にお尋ね下さい。
スプレーボトルやゴムヘラはバケツに水を入れてその中に入れておいてホコリがつかないようにしておきます。
※バケツはあらかじめ洗ってある綺麗なものを使用してください。

②準備が出来たらフィルムの用意を！

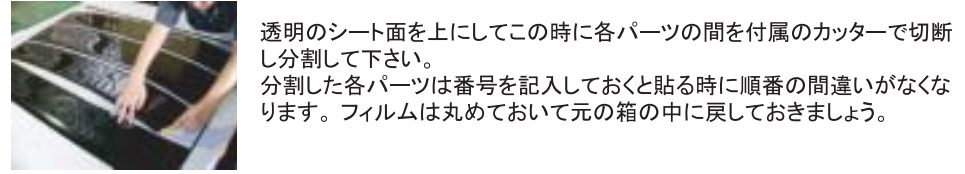


①箱を開け、3箇所止められているテープを外します。この時フィルムがめくれて折れないよう片方の手で抑えながら慎重に外しましょう。

②テープを外したらフィルムを広げ、巻いてある筒から外します。

③筒から外したフィルムを巻き、フィルムの入っていた空き箱に戻しておきます。

③パーツカットフィルムを切り分ける



透明のシート面を上にしてこの時に各パーツの間を付属のカッターで切断し分割して下さい。
分割した各パーツは番号を記入しておくのと貼る時に順番の間違いがなくなります。フィルムは丸めておいて元の箱の中に戻しておきましょう。

④ガラス清掃

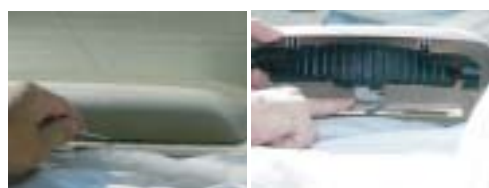
図1・2
綺麗なタオルでガラス面の内側・外側の清掃を行います。

図3 車庫保管場所ステッカーなどが内側から貼ってある場合はドライヤーなどで粘着材を柔らかくした上で破れないように剥がします。

図4 車内で水がかかる場所をタオルなどで養生します。

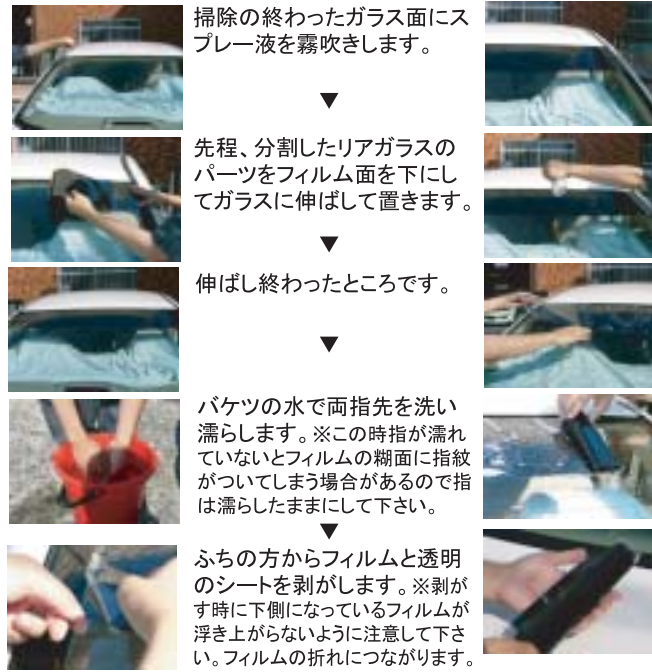


⑤ガラス周辺部品の取り外し



著しくフィルムの貼りこみの邪魔になる内装やストップランプ類は外す事をお奨めします。
※外し方などは当店にお尋ね下さい。

⑥フィルム接着面の霧吹き



掃除の終わったガラス面にスプレー液を霧吹きします。

先程、分割したリアガラスのパーツをフィルム面を下にしてガラスに伸ばして置きます。

伸ばし終わったところです。

バケツの水で両指先を洗い濡らします。※この時指が濡れていないとフィルムの糊面に指紋がついてしまう場合があるので指は濡らしたままに下さい。

ふちの方からフィルムと透明のシートを剥がします。※剥がす時に下側になっているフィルムが浮き上がらないように注意して下さい。フィルムの折れにつながります。

透明のシートは完全に剥がさず約5cmから10cm残します。

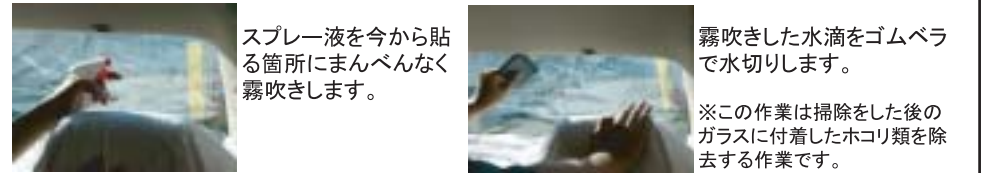
透明のシートを剥がした状態で速やかにフィルム面にスプレー液を霧吹きして下さい。※スプレー液の約三分の一程度の量を目安に霧吹きして下さい。

霧吹き終了後透明のシートを元の状態に戻します。

元に戻したら図のように軽く丸めます。

フィルムを丸めた状態です。

⑦ガラスのゴミ汚れ除去

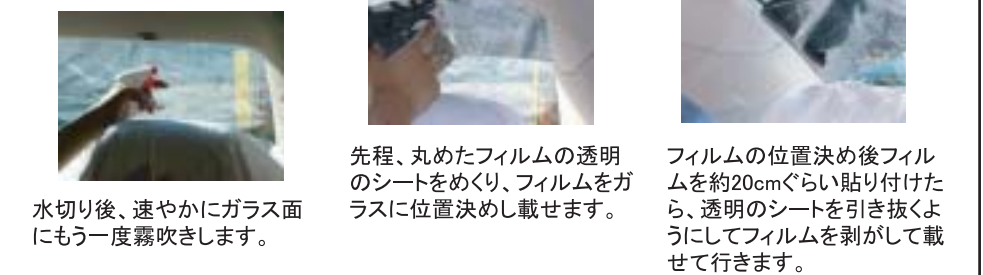


スプレー液を今から貼る箇所にまんべんなく霧吹きします。

霧吹きした水滴をゴムベラで水切りします。

※この作業は掃除をした後のガラスに付着したホコリ類を除去する作業です。

⑧貼りこみ作業—1

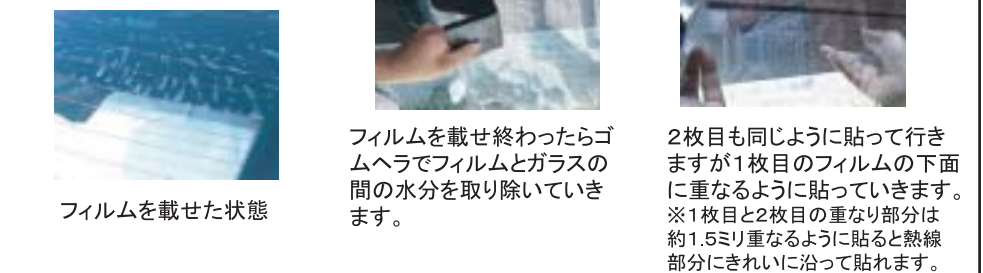


水切り後、速やかにガラス面にもう一度霧吹きします。

先程、丸めたフィルムの透明のシートをめくり、フィルムをガラスに位置決めし載せます。

フィルムの位置決め後フィルムを約20cmぐらい貼り付けたら、透明のシートを引き抜くようにしてフィルムを剥がして載せて行きます。

⑨貼りこみ作業—2

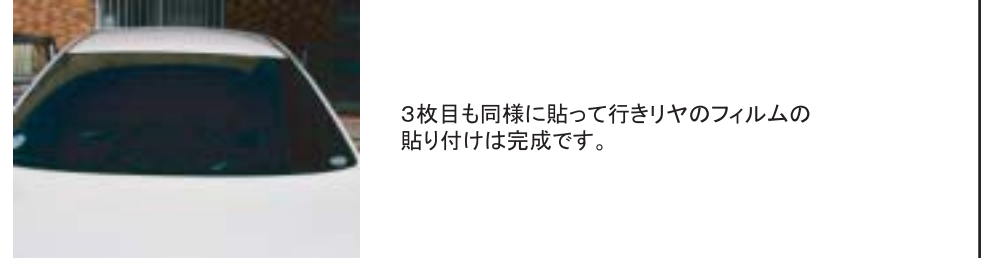


フィルムを載せた状態

フィルムを載せ終わったらゴムヘラでフィルムとガラスの間の水分を取り除いていきます。

2枚目も同じように貼って行きますが1枚目のフィルムの下面に重なるように貼って行きます。※1枚目と2枚目の重なり部分は約1.5ミリ重なるように貼ると熱線部分にきれいに沿って貼れます。

⑩貼りこみ作業—3



3枚目も同様に貼って行きリヤのフィルムの貼り付けは完成です。



後部座席ドアのフィルム貼り完了！